



広報誌「よぼう医学」 リニューアルのごあいさつ

広報紙「よぼう医学」は1969年の創刊以来50年近くにわたってお届けしてまいりました。その形態はタブロイド判、月刊発行でした。

本紙は、編集委員会と広報室が中心となって作成に当たり、編集者も代替わりを繰り返してきました。これらスタッフにより、予防医学を中心にした記事は2018年3月15日発行の第528号まで営々と積み上げられてきたのです。

しかし近年、時代に即応した形態への変化が求められるようになったことから、今年度、「よぼう医学」を一新することにしました。

新編集委員会の編成、月刊から季刊へ、加えてタブロイド判から冊子形態にすることが、今回の変革の骨子です。これまでの編集委員会は平均年齢が高く、管理職が中心でしたが、新編集委員会は若年化したことが大きな特徴です。また冊子形態は、記事の内容を深く掘り下げられることが利点です。

向後、少子化、長寿化に伴う疾病構造の変化、早期発見を目的とするがん診断の大きな転換を迎え、健診機関も従来とは異なる対応が求められることとなります。この時期に冊子形態で情報発信できるのは、時宜を得た改革といえます。新編集委員会のポリシーが形成され、本会らしい特色を得られるには、なお相当の期間を要すると思いますが、読者諸氏には温かい目でご指導ご助言を賜りたく切にお願い申し上げます。



公益財団法人東京都予防医学協会

理事長 小野 良樹

